

JASCT

ニューズレター

第6巻第3号

昭和62年(1987年)8月

発行人:松本清一 印刷所:絢文社

理事会からのお知らせ 第17回性治療研修会の開催(予告)

日 時 昭和62年10月4日(日) AM9:30~PM4:30
会 場 東京女子医科大学(東京都新宿区河田町8-1)
会 費 一般 30,000円 会員 20,000円
主 催 日本セックス・カウンセラー・セラピスト協会(JASCT)

プ ロ グ ラ ム

9:30~9:35	あいさつ	JASCT会長 松本清一
9:35~10:05	AIDSの心理社会的諸問題	千葉大学教育学部教授 武田敏
10:05~11:25	講座 性の臨床	
10:05~10:45	① 性治療の歴史	順天堂大学浦安病院神経精神科助教授 阿部輝夫
10:45~11:25	② 性歴のとり方	日赤医療センターカウンセラー 金子和子
11:25~11:45	第8回国際性科学会報告	日赤医療センター副院長 野末源一
11:45~12:00	質疑応答	司会 都立駒込病院心身医療科医長 河野友信
12:00~13:00	昼食	
13:00~13:50	広汎術後の腔再建に関する臨床的 並びに組織学的検討	北海道大学産婦人科助手 大久保仁
13:50~14:00	性感の解剖・生理・生化学	滋賀医科大学産婦人科助教授 笠井寛司
14:40~14:50	コーヒーブレイク	
14:50~16:10	性治療のコツ	
14:50~15:30	① 心因性インポテンス	聖マリアンナ医科大学泌尿器科教授 長田尚夫
15:30~16:10	② 心因性性感不全	山崎産婦人科医院長 山崎高明
16:10~16:30	質疑応答	司会 都立駒込病院心身医療科医長 河野友信

(演題・講師・時間は多少の変更があるかも知れません)

Vol. 6

No.

3

JASCT事務局 長谷クリニック内 TEL 03(475)1780

〒107 東京都港区青山1-1-1 新青山ビル西館3F

勃起とパパベリン

東京女子医科大学名誉教授 飯 沼 守 夫

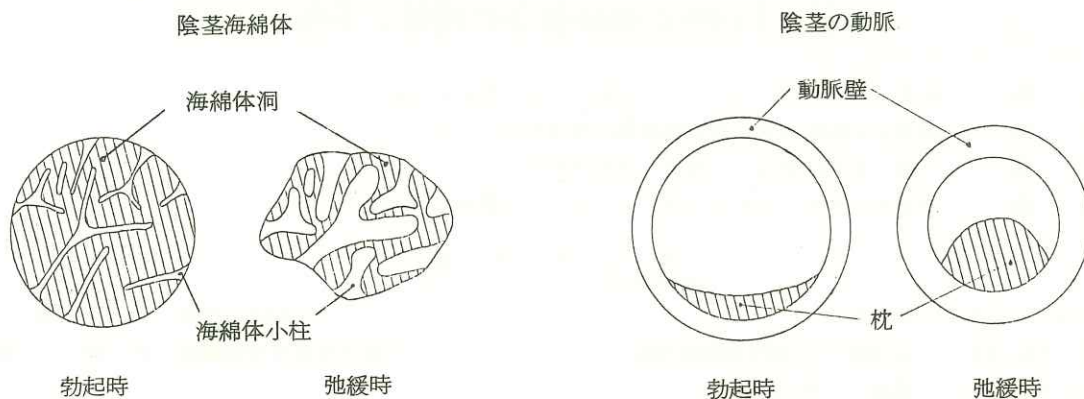
パパベリンの薬理作用

パパベリンは阿片アルカロイドの一つで粗阿片に約1%含まれている。モルヒネと異り鎮痛作用はほとんど無く、習慣性も無い。

直接平滑筋に働いて弛緩させるがその作用機序はまだ十分には明らかにされていない。パパベリンは非特異的にどの平滑筋にでも作用するから血管壁の筋を弛緩し血流量を増加させ、また消化管には鎮痙効果を示す。副交感神経興奮薬の場合はこれと異り血管は拡張するが消化管は運動が激しくなることより見て、パパベリンは平滑筋に直接働いて弛緩させることが分る。

勃起にかかわる平滑筋

性的に興奮すれば平滑筋が弛緩する。犬では陰茎後引筋が弛緩し陰茎が裸出する。人の場合は図に示すように陰茎海綿体小柱は平静時には平滑筋が収縮しているために厚くなり海綿体洞にはほとんど血液が存在しない。小柱の筋が弛緩すれば海綿体洞の容積は増す。同時に陰茎海綿体に動脈血を供給する動脈壁の平滑筋や、その内腔にある枕を構成する縦走の平滑筋が弛緩して管が太くなり流入血量が増加する。



勃起現象

健康な人に性的刺激が加えられると陰茎の平滑筋を支配する副交感神経の興奮のため筋の弛緩をひきおこし、海綿体洞に動脈血が充満し、静脈はこの充血により圧迫されて（白井）血液の流出がさまたげられ勃起が持続する。勃起した陰茎海綿体内の血液のVIP（血管作動性腸管ペプチド）の量は勃起していない場合の82ないし350倍である（白井）。これは副交感神経の末端よりVIPが分泌され、それにより平滑筋が弛緩し勃起がおこり、さらにVIPは海綿体洞へしみこむためであろう。このような自然の状態におけるVIPと同じ働きをするのが安価なパパベリンである。

パパベリンと勃起

陰茎海綿体内に直接パパベリンを注入した場合海綿体小柱の内皮より内部へしみこみ小柱の平滑筋を弛緩させ、さらに海綿体に入る動脈壁の平滑筋、次に枕を構成する縦走筋が弛緩し、動脈血の流入が急増して陰茎白膜内が充血して勃起の状態となる。平滑筋弛緩剤であるパパベリンが筋周囲に存在する間、筋の弛緩が続き勃起しているのであろう。白井によれば時に頻回注射により効果がなくなることがあるが、しばらく休めばまた効果が見られるとのこと。これは骨格筋が疲れるのと同様な現象ではなかろうか。

Contiの論文の疑問点

Contiは勃起現象を 1, 動脈血を海綿体洞を通さないで直接静脈に流入させるためのバイパス血管の枕の中の筋の収縮 2, 陰茎の動脈内壁にある枕の筋の弛緩による流入血の増加 3, 流出する静脈壁にある枕の筋の収縮による流出の制限で説明しているが、パパベリンの効果で分るように平滑筋はすべて弛緩するのであるから、バイパス血管の枕の平滑筋の収縮や静脈壁の平滑筋の収縮は考えられない。Contiの図の静脈の内壁の枕は病的なものではなかろうか。

「第7回日本性科学会」報告

- 日 時 : 1987. 5. 10
- 会 場 : 仙台市, 宮城県医師会館
- 参加費 : 3000円
- 学会長 : 長 池 博 子 (長池優生保護相談所長)

仙台駅からはじまる青葉通りの樺並木が尽きるところに宮城県医師会館があります。仙台の青葉が新鮮で一番美しい季節を選んで学会を催しましたところ好天に恵まれ参加者も予期したより多く、大変盛会でありました。

性治療や相談に対してはまだ関心の薄い東北で、私に課せられた期待はJASCTの啓蒙であると思いましたが、東北大学産婦人科矢嶋教授の御理解のもと日母宮城県大井支部長をはじめとする役員の先生方に全面的バックアップをしていただきました。誠に微力な私が成功裡に責任を果たすことができましたのは、偏に日産婦、日母、宮城県支部の結束のお陰で、感謝の一語につきる次第であります。

私が初めてJASCTの研修会に参加いたしました時、臨床医として科を問わず、性に対する基本的な姿勢を忘れてはならないと思ったあの強い感慨を、是非とも参加した方々に持って欲しいと願いました。そして初めて参加する方々に、参加して面白かった、役に立ったと思って頂けるように、特別講演二題と、教育講演三題を選びました。又一般演題もバラエティーに富んだものがべ切りまでに十題お申し込み頂いたことも有り難いことでありました。

大井支部長の御配慮で、日母支部学術担当の東岩井先生に準備委員長をお引受け頂き、JASCTの理事会にも何度かご出席頂いて意志の疎通を計りました。

JASCT創立当時の功労者であられた長谷川、村松、初代会長馬島の三先生が故人となれましたが、もし、長谷川先生が御存命ならば今回の学会長であつたろうと私は推察いたします。長谷川先生が浮世絵を秘蔵されていたことは有名であり、また東北大は先生の母校でもありますので、仙台での開催に花を添える意味で、故先生秘蔵の絵を拝借して展示することを、JASCTの理事会で了承を得ました。早速秋田のご遺宅へ伺い奥様のご快諾を頂きましたが、加えて石濱副会長からも秘蔵の芸術的性画をお貸し下さるとの申し出があり、はじめての試みとして展示会場を設けることに致しました。

特別講演の小野講師は、石濱副会長の御推挙によって61年8月にお目にかかり「被害者なき犯罪」という演題まで早々に決まりました。鈴木ハツヨ講師は時々親しくお会いするので、ご専門の民法のなかで特に「性」に関係のある講演をお願いいたしました。

教育講演は各科の先生方の研修を目的として、それぞれ性科学での第一人者、婦人科では草分け的存在の石濱先生、泌尿器科では世界的権威である東邦大学の白井教授、心療内科では臨床例を数多くお持ちで有名な駒込病院の河野先生に曲げてお願いいたしました。

一般演題募集のこと、PRの件、プログラム作成、抄録作成、などまだまだ時間があると思っておりましたのに年が明けたらあつという間に当日を迎えてしまいました。

会場の設営は東北大学産婦人科の星合講師を陣頭に学会ベテランの先生方が、スライドをはじめとする準備万端を前日のうちに用意してくださいました。展示の浮世絵はレンタルのショーケースに飾り、額縁入りの絵画は准看学院から借りた衝いたてと壁面に飾ることにしましたところ、大変按配の良い展示室になりました。

又、日曜日のため会場周辺には食事をする手頃なお店がありませんので、ライスカレーの出前を頼んで昼食券を売ることになりました。ライスカレーの嫌いな日本人は先ずいないと聞きましたので……。

当日の参加約200名を越し、朝日、読売、河北(地元紙)に日本性科学会の開催について、その内容及び必要性が記事として掲載されましたので、地方で開催された意義があつたものと思いました。

最後に初めから諸事万端にわたってご教示くださった石濱副会長と野末常務理事にお礼申し上げ、後援賜りました宮城県医師会、仙台市医師会、日本母性保護医協会宮城県支部と併せて東北大学産婦人科教室の先生がたに心から感謝申し上げます。

〔学会のお知らせ〕 出席、発表などに関する詳細はJASCT事務局にお問い合わせ下さい。

第38回性科学研究会 (The Society for the Scientific Study of Sex) 総会

期 間 : 1987年11月5日～7日

場 所 : アメリカ ジョージア州アトランタ (Westin Peachtree Plaza)

第2回性発達と性機能に関する国際会議

(The Second International Congress on Sexual Development and Functioning Across the Lifespan)

期 間 : 1987年10月22日～24日

場 所 : カナダ モントリオール (Hotel Maritime)

第17回産婦人科心身医学研究会

会 期 : 昭和62年9月26日(土)

会 場 : 産業医科大学 ラマツィーニ・ホール (北九州市八幡西区医生ケ丘)

演題募集 : 産婦人科領域の心身医学に関する一般演題を広く募集します。

研究会参加・演題発表とも医師・助産婦・保健婦・看護婦・臨床心理士など資格を問いません。

演題締切 : 演題名・所属・演者・400字以内の抄録を昭和62年8月8日までに下記宛お送り下さい。

研究会会員を募集しております。その他お問い合わせなどは下記まで。

〒807 北九州市八幡西区医生ケ丘1-1

産業医科大学産婦人科学教室内

産婦人科心身医学研究会事務局

093-603-1611 (内線2443)

第18回インポテンス (IMP) 研究会

日 時 : 昭和62年10月25日(日)

会 場 : 持田製薬 ルークホール (東京都新宿区四谷1-7)

主 題 : 加 齢

会 長 : 河 野 友 信 (都立駒込病院心身医療科)

編集部からのお願い

会員相互のコミュニケーションの場として、「交見室」という欄を設けました。

皆様の情報交換の場になることを期待しております。ご意見、ご提案などどしどしご投稿下さい。

届 先 JASCT事務局編集部

〒107 東京都港区南青山1-1-1

新青山ビル西館3F 長谷クリニック内

事務局からのお願い

新年度会費

10月より新しい年度(昭和62年10月1日～昭和63年9月30日)に入りますので、年会費15,000円の納入をよろしくお願い致します。

なお、今年度会費15,000円をまだ納入されていない方は、2年度分の納入をお願いします。
手数料が無料となります会の郵便振替用紙を同封しますのでご利用下さい。

銀行振込の場合は 横浜銀行 青山支店 普通預金 JASCT 918-042002 です。